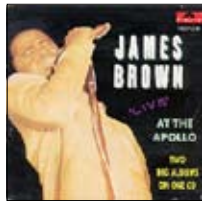
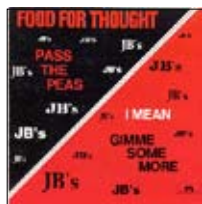


# ジャニスの企画魂 Vol.8

## ブラックパワーの血が滾る「ファンク道」探求!!



James Brown  
[Live At The Apollo [1968]]



The J.B.'s  
[Food for Thought]



Vicki Anderson  
[Mother Popcorn]



Sly & The Family Stone  
[Dance To The Music]



Larry Graham & Graham Central Station  
[Ain't No 'Bout-A-Doubt It]



Parliament  
[The Clones of Dr. Funkenstein]

店員A：神田神保町のCDレンタルショップJANISがお贈りするこのコーナーですが、今回はファンクバンドのベーシストとしてファンク道を目指す店員Bに“ファンクとはなんぞや!”を教えてもらいたいと思います!

店員B：はい、まずはファンクの元祖ということで**ジェームス・ブラウン**の『Live At The Apollo』です。これは世間的にも名盤の誉れ高い1枚! だけど実はJB関連でうちで一番人気があるのは**The J.B.'s**の『Food for Thought』なんだよね。

店員A：本家よりもバックバンドの方が人気というのは? 店員B：この作品は廃盤になってた時期があって、だからJANISで借りて聴くという人が多かったみたいなんです。

店員A：なるほどレンタルショップならではですね。

店員B：一方、**ヴィッキー・アンダーソン**のアンソロジー『Mother Popcorn』は入手困難だった音源がCD化されたものです。彼女はJBファミリーの歌姫で、この音源はアナログ盤でもすごくレアなものだった。

店員A：JB関連の音源が続きましたが…。

店員B：次は**Sly & The Family Stone**です! このバンドに在籍していたのが私が最も崇拜するベーシスト、ラリー・グラハムです。

店員A：いわゆるチョッパー・ベースの生みの親ですね。店員B：ただしグラハム大先生は自分のベースプレイのことをスラップ・ベースと言ってます。ロカビリーなどのウッド・ベースのプレイで弦をハジクように弾くプレイがあります。チョッパー・ベースの元々はそこにあるわけです。とにかく私はラリー・グラハムこそ最もファンキーなベースを弾く人だと思えます。なので、ベーシストであるならグラハム大先生が率いる**Larry Graham & Graham Central Station**の『Ain't No 'Bout-A-Doubt It』は絶対に聴いてもらいたい泣!

店員A：ファンク・ベーシストの代名詞としてはP-FUNKで活躍してたブーツィ・コリンズがいますね。素朴な疑問なんです、P-FUNKの“P”って何ですか?

店員B：P-FUNKを代表するグループに**Parliament**と**Funkadelic**というのがあるわけですが、これを合わせた名称としてP-FUNKという言葉が生まれたと一般的に言われています。ただ私はP-FUNKとはPsychchedelic Funkであると思えますね。P-FUNKの音楽というのはとにかくサイケなんですよ。

店員A：Funkadelicという名前もファンクとサイケデリックという言葉が融合されている。

店員B：Funkadelicはサイケなロックとファンクを融合させるコンセプトが元々あったらしいです。だから当初はホーン・セクションも無かったけど、それも入るようになり、メンバーも入り乱れるようになってFunkadelicとParliamentの区別がなくなってきた。

店員A：そもそもP-FUNKの総帥ジョージ・クリントンって何者なんですか?

店員B：床屋の親父だったらいいです。その床屋にファンキーな連中が集まってきた出来たのがP-FUNK軍団。まあ、ジョージ・クリントンは不思議な存在で、見た目も酋長みたいです(笑)。ただ、いわゆるP-FUNKっぽい音の基本を作っているのはブーツィ・コリンズとキーボードのパーニー・ウォーレルだと言えます。

店員A：Funkadelicの代表作としては『Maggot Brain』が挙げられることが多いですね。

店員B：この頃はまだブーツィもパーニーもFunkadelicには参加していませんでした。この1曲目の『Maggot Brain』でギターを弾いているのが**エディ・ヘイズ**という人なんです、彼のあだ名が“マゴット・ブレイン(ウジ虫の脳/きまぐれ野郎)”だったりします。

店員A：このギターは未成年は聴いちゃいけない(笑)。店員B：モワァンとしたギターソロが延々と続くっていうのが、かなりイッてます。多分、ジミヘンが生きていたらこういうギターを弾いていたんだろうな。結局、エディもドラッグで亡くなっちゃうんですけどね…。彼はアルバムを1枚出して、その作品にはブーツィとパーニーが参加しているから『MAGGOT BRAIN』よりファンキーですよ。あと、P-FUNK関連としては**The Brides Of Dr Funkenstein**も紹介しておきたい。Dr.ファンケンシュタインっていうのはジョージ・クリントンのことで、彼のクローンをいろんな惑星に送り込んで全宇宙的にファンキーにするというのがParliamentの『The Clones of Dr. Funkenstein』のコンセプトでした(笑)。そのDr.ファンケンシュタインの花嫁(Bride)ってことなんだけど、ようするにParliamentでコーラスをやっているお姉ちゃんの作品なんです。あとP-FUNK関連の稀少盤ではブーツィとパーニーが参加している**Space Cadets**の『Da Bomb』も紹介したい! これはメタル好きにも知られているTMスティープンスっていうベーシストが参加して、ファン垂涎のアイテムですよ。

店員A：JANISに来なくちゃ聴けないってことですか(笑)。店員B：さて、ファンクの主流を紹介してきたわけですが、ファンクにはもう1つOhio Playersから続く流れがあるってことを私としては知ってほしいんです!

店員A：Ohio Playersってやたらと裸の女性のジャケットが多い人たちですよ。店員B：これまで紹介してきたファンクと何が違うというと、すごくベタなバラードをやったりするんですよ。メロディアスでムーディ、エロい感じもします。そのOhio Playersを継承しているのが**Zapp**です。実は彼らの1stアルバムはジョージ・クリントンがプロデュースしていたりするんですが、サウンド的にはOhio Playersの流れにあって、JANISではこれをオハイオ・ファンクって呼んでいます。Zappの中心人物ロジャーはPrinzelに凄く影響を与えた人なんです。

店員A：Prinzelに至るファンクの流れっていうのもあるということですね。さて、最後のアイテムは? 店員B：**Plunky & Oneness Of Juju**が今年リリースしたライブアルバムです。彼らはアフロ・ファンクのバンドなんですけど、JBの『Sex Machine』など過去のファンクの名フレーズが散りばめられてるんですよ。ファンク入門編としても楽しめると思います。

店員A：しかしファンク道も奥深いものがありますね。店員B：たまにお客さんにも「ファンクって何なの?」って質問されるんですけど…。店員A：そういう質問は非常に困りますね(笑)。店員B：JBバンドからP-FUNKまでを渡り歩いたファンクの生き字引であるブーツィ・コリンズ大先生曰く、ジェームス・ブラウンがなぜそれまでの音楽と違ってファンキーだったのはシンコペーションにあると言ってます。つまり、シンコペーションにファンク道があるのではないのでしょうか!

店員A：この頃はまだブーツィもパーニーもFunkadelicには参加していませんでした。この1曲目の『Maggot Brain』でギターを弾いているのが**エディ・ヘイズ**という人なんです、彼のあだ名が“マゴット・ブレイン(ウジ虫の脳/きまぐれ野郎)”だったりします。

店員A：このギターは未成年は聴いちゃいけない(笑)。店員B：モワァンとしたギターソロが延々と続くっていうのが、かなりイッてます。多分、ジミヘンが生きていたらこういうギターを弾いていたんだろうな。結局、エディもドラッグで亡くなっちゃうんですけどね…。彼はアルバムを1枚出して、その作品にはブーツィとパーニーが参加しているから『MAGGOT BRAIN』よりファンキーですよ。あと、P-FUNK関連としては**The Brides Of Dr Funkenstein**も紹介しておきたい。Dr.ファンケンシュタインっていうのはジョージ・クリントンのことで、彼のクローンをいろんな惑星に送り込んで全宇宙的にファンキーにするというのがParliamentの『The Clones of Dr. Funkenstein』のコンセプトでした(笑)。そのDr.ファンケンシュタインの花嫁(Bride)ってことなんだけど、ようするにParliamentでコーラスをやっているお姉ちゃんの作品なんです。あとP-FUNK関連の稀少盤ではブーツィとパーニーが参加している**Space Cadets**の『Da Bomb』も紹介したい! これはメタル好きにも知られているTMスティープンスっていうベーシストが参加して、ファン垂涎のアイテムですよ。

店員A：JANISに来なくちゃ聴けないってことですか(笑)。店員B：さて、ファンクの主流を紹介してきたわけですが、ファンクにはもう1つOhio Playersから続く流れがあるってことを私としては知ってほしいんです!

店員A：Ohio Playersってやたらと裸の女性のジャケットが多い人たちですよ。店員B：これまで紹介してきたファンクと何が違うというと、すごくベタなバラードをやったりするんですよ。メロディアスでムーディ、エロい感じもします。そのOhio Playersを継承しているのが**Zapp**です。実は彼らの1stアルバムはジョージ・クリントンがプロデュースしていたりするんですが、サウンド的にはOhio Playersの流れにあって、JANISではこれをオハイオ・ファンクって呼んでいます。Zappの中心人物ロジャーはPrinzelに凄く影響を与えた人なんです。

店員A：Prinzelに至るファンクの流れっていうのもあるということですね。さて、最後のアイテムは? 店員B：**Plunky & Oneness Of Juju**が今年リリースしたライブアルバムです。彼らはアフロ・ファンクのバンドなんですけど、JBの『Sex Machine』など過去のファンクの名フレーズが散りばめられてるんですよ。ファンク入門編としても楽しめると思います。

店員A：しかしファンク道も奥深いものがありますね。店員B：たまにお客さんにも「ファンクって何なの?」って質問されるんですけど…。店員A：そういう質問は非常に困りますね(笑)。店員B：JBバンドからP-FUNKまでを渡り歩いたファンクの生き字引であるブーツィ・コリンズ大先生曰く、ジェームス・ブラウンがなぜそれまでの音楽と違ってファンキーだったのはシンコペーションにあると言ってます。つまり、シンコペーションにファンク道があるのではないのでしょうか!

店員A：この頃はまだブーツィもパーニーもFunkadelicには参加していませんでした。この1曲目の『Maggot Brain』でギターを弾いているのが**エディ・ヘイズ**という人なんです、彼のあだ名が“マゴット・ブレイン(ウジ虫の脳/きまぐれ野郎)”だったりします。

店員A：このギターは未成年は聴いちゃいけない(笑)。店員B：モワァンとしたギターソロが延々と続くっていうのが、かなりイッてます。多分、ジミヘンが生きていたらこういうギターを弾いていたんだろうな。結局、エディもドラッグで亡くなっちゃうんですけどね…。彼はアルバムを1枚出して、その作品にはブーツィとパーニーが参加しているから『MAGGOT BRAIN』よりファンキーですよ。あと、P-FUNK関連としては**The Brides Of Dr Funkenstein**も紹介しておきたい。Dr.ファンケンシュタインっていうのはジョージ・クリントンのことで、彼のクローンをいろんな惑星に送り込んで全宇宙的にファンキーにするというのがParliamentの『The Clones of Dr. Funkenstein』のコンセプトでした(笑)。そのDr.ファンケンシュタインの花嫁(Bride)ってことなんだけど、ようするにParliamentでコーラスをやっているお姉ちゃんの作品なんです。あとP-FUNK関連の稀少盤ではブーツィとパーニーが参加している**Space Cadets**の『Da Bomb』も紹介したい! これはメタル好きにも知られているTMスティープンスっていうベーシストが参加して、ファン垂涎のアイテムですよ。

店員A：JANISに来なくちゃ聴けないってことですか(笑)。店員B：さて、ファンクの主流を紹介してきたわけですが、ファンクにはもう1つOhio Playersから続く流れがあるってことを私としては知ってほしいんです!

店員A：Ohio Playersってやたらと裸の女性のジャケットが多い人たちですよ。店員B：これまで紹介してきたファンクと何が違うというと、すごくベタなバラードをやったりするんですよ。メロディアスでムーディ、エロい感じもします。そのOhio Playersを継承しているのが**Zapp**です。実は彼らの1stアルバムはジョージ・クリントンがプロデュースしていたりするんですが、サウンド的にはOhio Playersの流れにあって、JANISではこれをオハイオ・ファンクって呼んでいます。Zappの中心人物ロジャーはPrinzelに凄く影響を与えた人なんです。

店員A：Prinzelに至るファンクの流れっていうのもあるということですね。さて、最後のアイテムは? 店員B：**Plunky & Oneness Of Juju**が今年リリースしたライブアルバムです。彼らはアフロ・ファンクのバンドなんですけど、JBの『Sex Machine』など過去のファンクの名フレーズが散りばめられてるんですよ。ファンク入門編としても楽しめると思います。

店員A：しかしファンク道も奥深いものがありますね。店員B：たまにお客さんにも「ファンクって何なの?」って質問されるんですけど…。店員A：そういう質問は非常に困りますね(笑)。店員B：JBバンドからP-FUNKまでを渡り歩いたファンクの生き字引であるブーツィ・コリンズ大先生曰く、ジェームス・ブラウンがなぜそれまでの音楽と違ってファンキーだったのはシンコペーションにあると言ってます。つまり、シンコペーションにファンク道があるのではないのでしょうか!

店員A：この頃はまだブーツィもパーニーもFunkadelicには参加していませんでした。この1曲目の『Maggot Brain』でギターを弾いているのが**エディ・ヘイズ**という人なんです、彼のあだ名が“マゴット・ブレイン(ウジ虫の脳/きまぐれ野郎)”だったりします。

店員A：このギターは未成年は聴いちゃいけない(笑)。店員B：モワァンとしたギターソロが延々と続くっていうのが、かなりイッてます。多分、ジミヘンが生きていたらこういうギターを弾いていたんだろうな。結局、エディもドラッグで亡くなっちゃうんですけどね…。彼はアルバムを1枚出して、その作品にはブーツィとパーニーが参加しているから『MAGGOT BRAIN』よりファンキーですよ。あと、P-FUNK関連としては**The Brides Of Dr Funkenstein**も紹介しておきたい。Dr.ファンケンシュタインっていうのはジョージ・クリントンのことで、彼のクローンをいろんな惑星に送り込んで全宇宙的にファンキーにするというのがParliamentの『The Clones of Dr. Funkenstein』のコンセプトでした(笑)。そのDr.ファンケンシュタインの花嫁(Bride)ってことなんだけど、ようするにParliamentでコーラスをやっているお姉ちゃんの作品なんです。あとP-FUNK関連の稀少盤ではブーツィとパーニーが参加している**Space Cadets**の『Da Bomb』も紹介したい! これはメタル好きにも知られているTMスティープンスっていうベーシストが参加して、ファン垂涎のアイテムですよ。

店員A：JANISに来なくちゃ聴けないってことですか(笑)。店員B：さて、ファンクの主流を紹介してきたわけですが、ファンクにはもう1つOhio Playersから続く流れがあるってことを私としては知ってほしいんです!

店員A：Ohio Playersってやたらと裸の女性のジャケットが多い人たちですよ。店員B：これまで紹介してきたファンクと何が違うというと、すごくベタなバラードをやったりするんですよ。メロディアスでムーディ、エロい感じもします。そのOhio Playersを継承しているのが**Zapp**です。実は彼らの1stアルバムはジョージ・クリントンがプロデュースしていたりするんですが、サウンド的にはOhio Playersの流れにあって、JANISではこれをオハイオ・ファンクって呼んでいます。Zappの中心人物ロジャーはPrinzelに凄く影響を与えた人なんです。

店員A：Prinzelに至るファンクの流れっていうのもあるということですね。さて、最後のアイテムは? 店員B：**Plunky & Oneness Of Juju**が今年リリースしたライブアルバムです。彼らはアフロ・ファンクのバンドなんですけど、JBの『Sex Machine』など過去のファンクの名フレーズが散りばめられてるんですよ。ファンク入門編としても楽しめると思います。

店員A：しかしファンク道も奥深いものがありますね。店員B：たまにお客さんにも「ファンクって何なの?」って質問されるんですけど…。店員A：そういう質問は非常に困りますね(笑)。店員B：JBバンドからP-FUNKまでを渡り歩いたファンクの生き字引であるブーツィ・コリンズ大先生曰く、ジェームス・ブラウンがなぜそれまでの音楽と違ってファンキーだったのはシンコペーションにあると言ってます。つまり、シンコペーションにファンク道があるのではないのでしょうか!

店員A：この頃はまだブーツィもパーニーもFunkadelicには参加していませんでした。この1曲目の『Maggot Brain』でギターを弾いているのが**エディ・ヘイズ**という人なんです、彼のあだ名が“マゴット・ブレイン(ウジ虫の脳/きまぐれ野郎)”だったりします。

店員A：このギターは未成年は聴いちゃいけない(笑)。店員B：モワァンとしたギターソロが延々と続くっていうのが、かなりイッてます。多分、ジミヘンが生きていたらこういうギターを弾いていたんだろうな。結局、エディもドラッグで亡くなっちゃうんですけどね…。彼はアルバムを1枚出して、その作品にはブーツィとパーニーが参加しているから『MAGGOT BRAIN』よりファンキーですよ。あと、P-FUNK関連としては**The Brides Of Dr Funkenstein**も紹介しておきたい。Dr.ファンケンシュタインっていうのはジョージ・クリントンのことで、彼のクローンをいろんな惑星に送り込んで全宇宙的にファンキーにするというのがParliamentの『The Clones of Dr. Funkenstein』のコンセプトでした(笑)。そのDr.ファンケンシュタインの花嫁(Bride)ってことなんだけど、ようするにParliamentでコーラスをやっているお姉ちゃんの作品なんです。あとP-FUNK関連の稀少盤ではブーツィとパーニーが参加している**Space Cadets**の『Da Bomb』も紹介したい! これはメタル好きにも知られているTMスティープンスっていうベーシストが参加して、ファン垂涎のアイテムですよ。

店員A：JANISに来なくちゃ聴けないってことですか(笑)。店員B：さて、ファンクの主流を紹介してきたわけですが、ファンクにはもう1つOhio Playersから続く流れがあるってことを私としては知ってほしいんです!



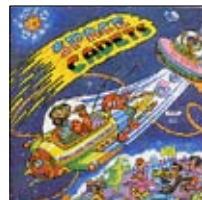
Funkadelic  
[Maggot Brain]



Eddie Hazel  
[Game, Dames, And Guitar Thangs]



The Brides Of Dr Funkenstein  
[Funk Or Walk]



Space Cadets  
[Da Bomb]



Zapp  
[Zapp VI. BACK BY POPULAR DEMAND]



Plunky & Oneness Of Juju  
[Live In Paris]



### JANIS SPACE 出演者募集!!

9月から始まったJANISのイベントスペース。これまで即興ライブ、アコースティックライブ、映像×DJイベント、お笑い×音楽イベントなどが行われてきました。このJANIS的フリースタイルスペースで「何かやってみたい人」を募集しています(しかも11月は平日に限り無料!!)。詳細はJANIS WEB SITEをCHECKしてください!!

### CD RENTAL SHOP JANIS

千代田区神田小川町3-6-9  
神田第2アメリックスビル9F  
TEL : 03-3291-9578  
http://www.janis-cd.com/

